

1. 件名：建物構築物の健全性評価の進捗状況に関する面談
2. 日時：令和5年1月27日（金）13時30分～14時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者：
  - 原子力規制庁
    - 原子力規制部
    - 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
    - 竹内室長、大辻室長補佐、石井係長（テレビ会議システムによる参加）
  - 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
    - 本社 2名（テレビ会議システムによる出席）
    - 福島第一原子力発電所 3名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
  - 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、1～3号機原子炉建屋の健全性評価手法の確立に向けた取組の進捗状況について、以下に関する説明を受けた。
    - 高線量エリアにおける無人・省人による調査方法
    - 建屋部材の経年劣化の評価方法
  - 原子力規制庁から、建屋部材の経年劣化の確認に際しては、耐震評価上重要な箇所を洗い出して調査点を選定するとともに、当該箇所の劣化状況によって耐震性にどの程度の影響を及ぼすのか評価することについて、検討するよう求めた。
  - 東京電力から、原子力規制庁からの指摘に対して適切に対応する旨回答があった。
6. 資料：
  - 建物構築物の健全性評価の進捗状況について